

新年の抱負

全国大会出場めざして

伊達柔道スポーツ少年団 虻田中2年 宮古将寛さん

9月19日 東京武道館で開催された平成28年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会に、伊達柔道スポーツ少年団の大將として参加しました。結果は、残念ながら1回戦敗退となってしまいましたが、多くのことを勉強する機会となりました。

5歳ぐらいから父の影響で洞爺柔道少年団に入団し、小学6年生まで活動。中学生からは、伊達スポーツ少年団に加わり、現在週に3回練習に励んでいます。

全国大会で戦ってみて、選手の体が大きく、力がとても強いと感じました。北海道の大会とは、技術面、スピード面のレベルが違いました。

今年は、中学最後の学年です。もっともっと練習を積んで、団体戦と個人戦で全国大会に出場できるように頑張っていきたいと思います。



趣味の菊作りに励んで

結城忠太郎さん（泉区）

今年数えて100歳になります。菊作りに釣りや狩猟、ゲートボールなどたくさんの趣味をもって人生を歩んできました。その中で、今も続けているのが菊作りです。おおよそ60年前に始めたのですが、趣味としては一番長く続いています。現在は、洞爺協会病院に展示してもらったり、町の総合文化祭に出展したりして楽しんでいます。

菊は、一年を通して、時季ごとにやらなければならないことが多く、その作業が気力を充実させてくれますし、次の年は今年よりいいものを作りたいと思ってやってきたのが、元気に長く続けられた秘訣だと思っています。そして多くの菊作りの仲間に出会い、支えてもらったことも大切なことです。

元気なうちは、菊を作り続けていきたいものです。



次世代に語り継ぐ「学びと伝え」の実践者でありたい

洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク代表 阿部秀彦さん

洞爺湖有珠火山マイスター制度ができてから、今年で10年目を迎えます。現在43人が火山マイスターとして活動し、ガイドや講演会などを通じて、正しい知識と危機管理などを伝えています。

私は、2000年有珠山噴火の経験をきっかけに、6年前に火山マイスターになり、町民一人ひとりが火山の特徴を正しく理解し、災害の体験や減災への知恵を傳承していくことの大切さを日々感じています。

しかし、全ての町民に等しく理解してもらうのは、

非常に困難なことも現実で、ゴールを持たない長距離ランナーのように、一步一步確実に地歩を築いていくしかありません。自分の地域を知り、自分の命を守る意識の広がり、私たちの活動が、積極的に関与していければと思っています。



大会史上初の4連覇に挑戦！

雪合戦チーム MISKY。キャプテン 広瀬早喜さん

チームMISKY。は、昨年の昭和山国際雪合戦のレディースの部で3連覇を果たし、今年の大会では、一般とレディースのそれぞれの部で初めての4連覇に挑みます。

3年前の初優勝の時から、この大きな目標に向かって、毎年、毎年頑張ってきました。練習場としてテニスコートを無償で貸してくださっている万世閣さんや町民の皆さんの応援の声が、これまでの3連覇達成を後押ししてくれました。

優勝は簡単なことではありませんが、ここまでくれば全力で戦うしかありません。お正月返上で練習してきた成果を出して、頂点を極めたいと思っています。そして男子チームと同時優勝できれば最高です。

